

有限会社 青木屋

SDGs宣言



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、「お客様へ喜ばれる食事処」という理念の下、豊かな未来の実現に貢献してまいります。



2025年2月21日
有限会社 青木屋
代表取締役 青木 千尋

■ SDGsの達成に向けた取組 ■

ワークライフバランス

社員の豊かなライフスタイル実現のため、育児や介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。

【具体的な取組】

- パートタイム従業員の働きやすい職場づくり
- ライフスタイルに合わせた勤務体系の実現
- 各種休暇を取得しやすい風土づくり

3 すべての人に
健康と福祉を



8 駆けがいる
経済成長も



ゴミ・廃棄物削減



未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。

【具体的な取組】

- 廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進
- ペットボトル・空き缶の分別回収、リサイクル活動
- 廃棄物管理体制の強化

8 駆けがいる
経済成長も



9 産業と创新基盤の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



地産地消の推進



地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。

【具体的な取組】

- 地域産の食材を使用した製品の開発・購入
- 適正量の仕入・生産を行いフードロスを削減
- 地域の特産品・自然等の特色を生かしたイベント企画

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



顧客ニーズの把握



製品・サービスに関する顧客の意見やニーズを積極的に収集し、改善検討を行う経営を目指します。

【具体的な取組】

- 顧客・地域住民との対話を促進し、信頼確保
- 顧客の声を製品・サービスに反映させる仕組み構築
- 顧客満足度目標の設定、向上のための取り組み推進

9 産業と创新基盤の
基盤をつくろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書は栃木銀行のサポートのもと作成しております

 栃木銀行